

新質問紙健康調査票 THI の紹介

鈴木庄亮 柳井晴夫 青木繁伸

はじめに

新しい自記式の質問紙健康調査票とその評価法とを開発したので、その概略を紹介したい。この健康調査票を「東大式健康調査票」(The Todai Health Index, 略して THI)と名づけた。なお、これは最初 THPI と名づけたが^{1,2)}上記のように改名のみしたものである。

この種の調査票として従来 CMI³⁾があり、その翻訳^{4,5)}および各種改変型⁶⁾がわが国でも臨床や集団検診でよく使われてきた⁷⁾。その他、外国では、Medical Data Index^{8,9)}、Automated Medical History^{10,11)}、Disability Schedule¹²⁾、General Medical Questionary¹²⁾、など数多くのものが考案されている。わが国でも OMI¹³⁾その他¹⁴⁾最近では“自動問診”¹¹⁾によるものがいくつか実用化されている。とくに、この種の調査の集計にコンピュータが導入されたことによって情報処理能力が著しく増大したが、反面その評価法・利用法について十分な検討がなされないまま実用段階に入ったため、各種の混乱、不信感が増大している面もある。

1. THI 作成の意図

著者らが作製した質問紙は、主として“健常な集団”を対象として、訴えや自覚症状の尺度化・標準化など数量的処理・評価が可能で、集団特性の観察・分析にも有用で、また、集団の中から各種のリスクグループをふるい分けることができることを意図した^{1,2)}。

これらの意図をこれまでわが国でよく使われてきた CMI に照らしてみると、その問題点は次のようである^{1,2,15)}。

①問診の補助手段としてつくられた CMI は、その質問項目が経験的で、構造が不明確。

②翻訳して用いるため、たとえば枯草熱(hay fever)が入っているのに、腰背痛、胃の痛み、せきとたんなどわが国で頻度の多い必要な質問が抜けている²⁾。

③因子構造が偏っており¹⁶⁾尺度化が困難。

④選択肢が2つで、数量化に難点がある。

⑤総じて評価の方法に欠ける。

2. THI 作成のプロセス^{1,2)}

これらの点をふまえて、著者らは新たな質問紙をつくることにした。その作成のプロセスは次のようである。

①ある職場集団(6,686名)の健診カードから自由記入法によって記述された159種類の心身の訴え¹⁷⁾を基本にして、②精神・心理的内容の質問、生活習慣・行動に関する質問項目を追加し、計255問の質問紙原案をつくり、③これを402名の集団に実施し、④その結果で、はい応答率の低い質問項目64問を除いた191問のデータを尺度構成のために数回にわたって因子分析し、その結果に基づいて11の暫定尺度を構成し、⑤各尺度の内的整合性を確かめ、虚構性をみる質問群を加え、⑥最終的に文末のような12尺度で計130問からなる質問紙をつくった。

3. THI の尺度構成と尺度得点^{1,2)}

130の質問は表1のような12の尺度を構成する。どの尺度にも含まれない質問が7個あり、各尺度の命名には多少無理な部分もあるので、尺度名だけでなく表1の内容・意味についても十分吟味されたい。

次に各尺度を構成する質問の尺度得点を算出する方法について述べる。その1例として、各質問番号のあとにFと記された攻撃性尺度の7つの質問に、ある男子が次のように答えていたとする。

1. F° 甘いものが好きですか……

……はい どちらでもない ○いいえ

14. F° 寒がりやですか……

……はい ○どちらでもない いいえ

34. F 自分の体重についてどう思っていますか

……○ふとりすぎ ふつう やせすぎ

45. F° 立ちくらみすることがありますか……

……よく ときどき ○いいえ

73. F 酒をたくさん飲みますか……

……○はい 少し 全く飲まない

SUZUKI, Shosuke 東京大学医学部保健学科人類生態学教室
YANAI, Haruo; AOKI, Shigenobu 東京大学医学部保健学科疫学教室

表1 THI の12尺度と、それらの内容・意味および正常者集団の尺度得点平均値(上段)と標準偏差(下段)

尺度名	略号 (記号)	質問 項目数	内容・意味	尺度得点*	
				男子	女子
1. 多愁訴	SUSY (I)	20	手足や体がだるい、横になりたい、頭が重い、ぼんやりする、痛い、肩がこる、体が痛い、熱っぽい、など不定愁訴	28.84 6.00	31.38 6.31
2. 呼吸器	RESP (A)	10	たんがからむ、鼻水が出る、せき、くしゃみが出る、のどが痛む、など	14.87 3.50	14.07 3.10
3. 眼と皮膚	EYSK (B)	10	皮膚が弱い・かゆい、発疹・じんましんが出る、目があつい、痛い、充血する、など	14.53 3.25	16.36 3.54
4. 口腔と肛門	MOUT (D)	10	舌があれ、口が熱っぽい、歯ぐきの色が変わる、出血する、口臭がある、排便痛、痔、便秘など	13.22 2.64	13.31 2.57
5. 消化器	DIGE (C)	9	胃の具合がわるい、痛む、もたれる、下痢、消化不良、など	13.22 3.23	13.65 3.33
6. 直情径行性	IMPU (H)	9	いらいらする、カッとなる、考えずに行動する。不平不満が多い、など短気・直情径行性	17.97 3.45	17.88 3.66
7. 虚構性	LISC (L)	10	自分をよくみせたい傾向、自分をいつわって虚栄をはる傾向、そのためにうそをいってしまう傾向	19.03 2.85	17.76 2.86
8. 情緒不安定	MENT (J)	14	ちょっとしたことが気になる、人前で仕事ができない、くよくよ、赤面、気疲れ、冷汗、落着がない、気分が波、など	22.15 4.74	25.51 5.00
9. 抑うつ性	DEPR (K)	10	悲しく、孤独で、おもしろくなく、ゆううつで、元気がなく、自信がない、など	14.14 3.41	16.04 3.76
10. 攻撃性	AGGR (F)	7	体が強く、気は大きく、肥っていて、たちくらみ・寒がりでない、など心理的外向・積極的・攻撃的	15.76 2.18	13.81 1.96
11. 神経質	NERV (E)	8	神経質、心配性、苦勞性、敏感、気むずかしい、など	17.58 3.51	17.17 3.37
12. 生活不規則性	LIFE (G)	11	夜ふかしの朝寝坊、食事は不規則で朝食抜き、食欲不振、体がだるい、朝起きるのがつらい、など都市型の生活	18.83 3.58	19.82 3.32

* 職場集団の男子3,275名および女子2,662名の結果で、図2の集団と同一。この集団の心身症と神経症のDF値の平均値/標準偏差はそれぞれ、-1.74/1.43(男子)、-0.71/1.47(女子)と、-1.89/1.52(男子)、-1.21/1.61(女子)である。表の()内の記号は文末の質問紙の質問番号のあとの記号と同じ。

78. F° 体が弱いほうですか……

……はい 少しいえ

116. F° 気が小さいと思いますか……

……はい どちらでもない 少しいえ

ここで○のついていないF°のついていない質問は、3選択肢の左端に答えていた場合を3点、○のついたF°のついていない質問は逆に右端に答えていた場合を3点とするので、順に加えて、3+2+3+3+3+3+3=20点がこの人の攻撃性尺度得点となる。

4. 疾病の判別診断^{1,2,18)}

ある個人についてえられる12個の尺度得点から特定の

疾患を判別することを試みた。これまでに、臨床的に心身症、神経症、分裂病、呼吸器疾患と診断された受療中の患者のTHIの尺度得点と、別の同数のランダムに選んだ正常者のそれを求め、フィッシャーの判別関数¹⁹⁾により両群をもっともよく分離できる各尺度の重み係数(判別係数)を算出した。ここではこれらの疾病のうち、内容的妥当性が確認された心身症および神経症についてのみ紹介する。この2疾患の患者集団の尺度得点の平均値と判別係数を表2に示す^{2,18)}。これら2種類の値から、それぞれの疾患について判別値(DF値)を次式によって求める^{2,18)}。

表2 心身症患者群(PSD)と神経症患者群(NEUR)のTHI 12尺度の平均得点と判別係数

尺度名	平均尺度得点		判別係数 a_i	
	PSD	NEUR	PSD	NEUR
多愁訴	37.78**	37.87**	0.139	0.143
呼吸器	16.84	15.94	-0.109	-0.102
眼と皮膚	16.42*	15.60	-0.106	-0.228
口腔と肛門	14.80	14.31	-0.175	-0.172
消化器	15.50*	14.73	0.027	-0.023
直情径行性	20.14**	20.96**	0.162	0.137
虚構性	18.94	17.37*	0.127	0.058
情緒不安定	28.36**	29.54**	0.068	0.077
抑うつ性	18.74**	20.96**	-0.012	0.202
攻撃性	11.80**	12.39**	-0.412	-0.040
神経質	20.36**	20.21**	0.029	0.055
生活不規則	21.50*	21.44**	-0.027	0.031

*および**は、各患者群と同性比・同数のランダムサンプリングによる対照(正常)群との間の有意差検定で、各1%および5%の危険率で有意なものを示す。両疾患の両群は表3のそれと同一。

表3 THIによる心身症および神経症の判別診断の精度——外来患者各50および52名とそれぞれ同数の対照(正常)群による

判	臨	正 常	心身症	合 計
正 常		39	12	51
心 身 症		11	38	49
合 計		50	50	100
正 診 率		78.0	76.0	77.0

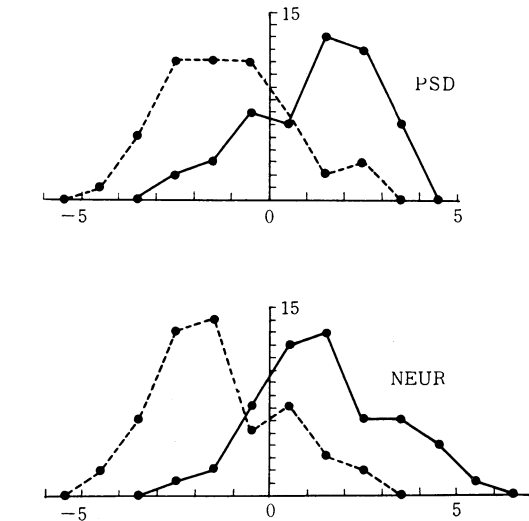


図1 臨床的心身症患者群(上図 PSD)と同神経症患者群(下図 NEUR)の各判別値の分布と両群に対応する対照(正常)群のその分布。縦軸は人数、横軸はDF値、各群は表3のそれと同じ。

判	臨	正 常	神経症	合 計
正 常		40	10	50
神 經 症		12	42	54
合 計		52	52	104
正 診 率		76.9	80.8	78.8

臨：外来診療での臨床診断。判：THI結果のフィッシャーの判別函数による判別診断。

心身症の場合 $DF = \sum_{i=1}^{12} a_i x_i - 0.828$

神経症の場合 $DF = \sum_{i=1}^{12} a_i x_i - 7.649$

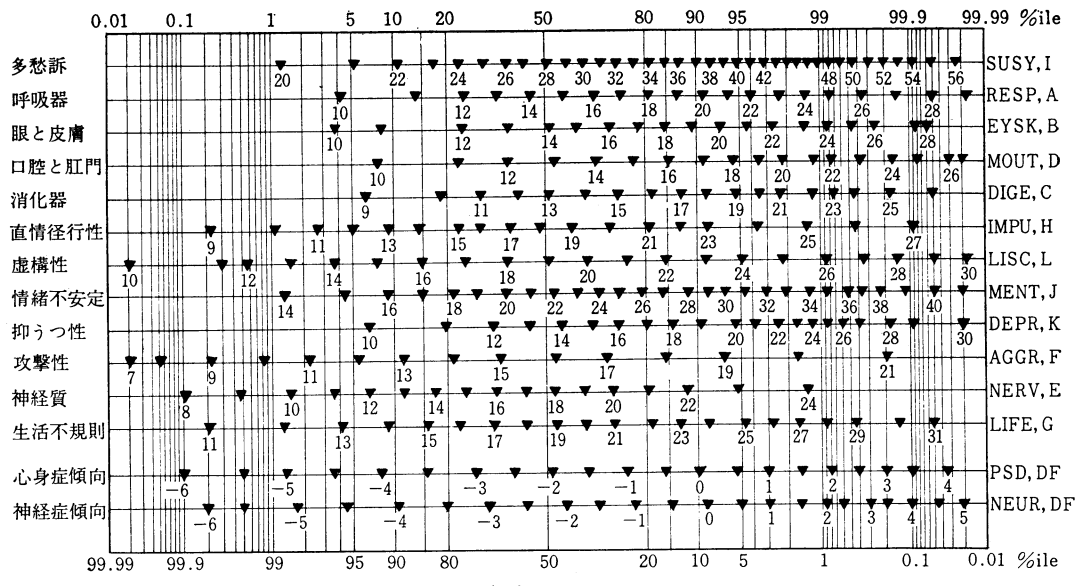
ただし、 a_i は表2に示した各疾患の12尺度の判別係数、 x_i はあるケースでの12尺度得点である。このようにして計算された2つの疾患患者群と各正常者群のDF値の分布を図1に示す。

DF値がプラスに大きいほどその疾病状態である確率は大きいとみなす。一般の手順によればこの値が正の場合にそれぞれの疾患であると診断される。これを臨床診断と区別して判別診断と呼ぶ。判別診断でえられる正診率——正常者を正常者とあるいは患者を患者と判別診断する割合——は3つの疾患患者群について表3のようであった¹⁸⁾。分裂病と呼吸器疾患については妥当性の検討が十分なされていないので省略する。

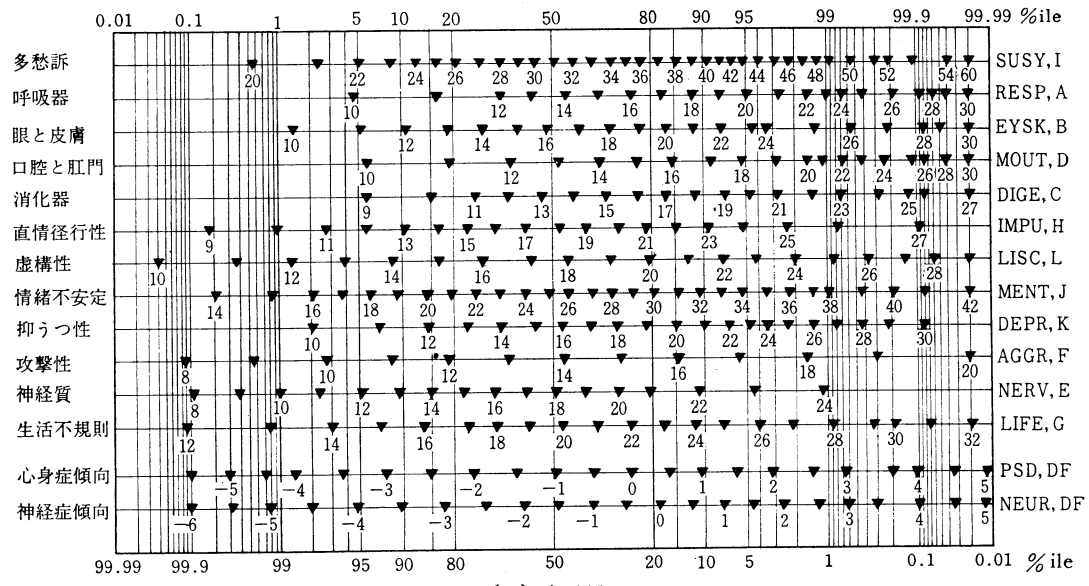
5. THIの評価法と利用法

本調査票の評価法は、それぞれの使用目的に応じて各群ありえようが、本票に特徴的と思われるものを以下に述べる。

個人を評価の対象にする場合は、①ある個人の12の尺度得点を適当な標準集団(reference [normal] group)の尺度得点分布とつき合わせる。この場合の標準集団は被検者と性、年齢、職業、test situationなどができるだけ等質であることが望ましい。図2を標準集団の尺度得点分布と仮定して、先に述べたケースの攻撃性尺度得点20点は図2のうち男子用の図から、得点の小さい方から100人中は98番目(98パーセンタイル)(すなわち大きい方から2番目2パーセンタイル)に当たることが読みとれる。このようにして被験者の12の尺度得点の相対的位置づけをプロフィールとしても知ることができる。



(a) 男子用



(b) 女子用

図2 THIの12尺度得点および2つの疾患の判別値の標準集団での累積度数分布(パーセンタイル値)
 —もと同じした集団は表1に同じ。

②ある個人について求められたDF値についても同様に、しかるべき標準集団のDF値(たとえば、図2)の分布とつき合わせることで評価される。

③ある個人の自記されたTHIの各質問への応答、尺度得点およびDF値のパーセンタイル値をみながらこの被検者と各種専門家とが面接する¹⁵⁾。

④ある個人(場合によっては患者)の心身状態(人格・行動特性などを含めて)の経時変化を定量的にTHI

によってフォローすることもできよう。

集団を評価の対象とする場合は、①使用目的によって、尺度得点やDF値によりある集団から各種リスクグループをふるい分け、あるいは判別診断を行う。スクリーニング・レベルは要求されるふるい分けの精度と調査者側のキャパシティとを勘案して設定すればよい¹⁵⁾。

②DF値によるふるい分けは、その水準を0にとるとみかけの陽性率が大きくなりすぎるので、職場集団の例

では DF 値の大きい方から男女各1パーセントイル値のふり分け水準をとるのが妥当であった¹⁵⁾。各種集団間の心身の訴えの比較検討を、個々の質問に対する応答率や、平均尺度得点・DF 値とこれらのばらつき（これらの例が表1にあげられている）により行う。たとえば、性、年齢、職業、職務、従業上の地位、居住地域、患者などでどちらがうかをみるのに利用する。どの尺度にも含まれない7つの質問はおそらくあまり特殊でなければ他の適当な質問と交換してもよいだろう。

6. THI の特徴

このようにしてつくられた THI は、従来の CMI などと比較して次のような特徴をもっている。

①質問は多くの日本人に共通してみられる身体的訴えを中心に、生活行動・習慣および精神・心理的なものが数多く含まれている。

②選択肢が3つであることおよび質問数が比較的少ないことのため、答えやすく負担が小さい。

③質問項目が最新の統計的手法を用いて合理的に尺度化されており、コンピュータによる数量処理はもちろんのこと、手計算による集計も可能である。

④DF 値による数量的取り扱いおよび判別診断が可能である。

⑤精神・心理的測定も可能。

⑥虚構性の尺度があるので、ある程度質問項目への反応の信頼性をチェックすることができる。

⑦また、因子分析によってえられた因子得点を利用することもできる²⁰⁾。

欠点としては、①質問の配列に心理的配慮がなされているが、その反面尺度ごとにまとめてないので記入された THI を参照しながら面接する場合に一目で把握しにくいこと、この点を解決したい場合には表4のような配列も考えられる。

②既往歴や、まれなしかし医学的には重要でありうる質問が抜けていること、などがあげられよう。

おわりに

本質問紙は作成開始から現在まで3年たらずであり、その間本票を用いていくつかの妥当性や利用法の検討を行った。これまでに多くの方々から質問紙の請求や使用希望が寄せられた。紙面の都合で本論稿を1/4に縮めたため舌足らずの箇所が多いと思うが、引用文献で補っていただきたい。今後、現場での応用を積み重ねるなかで、多くの要検討事項がみつかると思われる。ご教示をいただければ幸いです。最後に、くれぐれも判別診断

表4 面接併用の場合の THI 質問の配列の一例

	50. I	103. I	55. I	82. CI
	35. I	67. I	24. I	
	65. I	13. I	17. I	2. G°
	52. I	93. I	4. I	43. G
	69. I		120. I	91. G
		85. BI	76. I	95. G
39. I	5. A			15. G
	48. A	19. B	118. B	
89. AI	18. A	49. B	99. B	10. E
106. AI	84. A	88. B	31. B	41. E
	97. A	108. B	63. B	23. E
62. A			6. B	54. E
30. A	53. J	9. J		
117. A	25. J	22. J	92. J	57. G°
	66. J	79. J	105. J	71. G
3. D	40. J	77. J	121. J	28. G
16. D	87. J	81. J	83. J	113. G°
104. D				122. G
27. D	70. D	1. F°	45. F°	
56. D	80. D	14. F°	116. F°	75. E
114. D	94. D	34. F	78. F°	107. E
42. D		73. F		112. E
	7. C		46. K	124. E
64. C	51. C	11. K	74. K	
20. C	111. C	109. K	32. K	26.
33. C	86. C	119. K	37. K	59.
101. C		100. K	90. K	98.
127. C	8. H	60. K		123.
	96. H		68. L	128.
21. H	115. H	47. L	102. L	129.
29. H	125. H	61. L°	110. L°	130.
58. H		126. L	38. L×	
72. H	44. HL°	12. L°	36. L°	

注：数字は文末の THI の質問番号を、アルファベットは各質問の所属尺度を、°印を付したものは、応答の配点が逆になることを示す。各列はそれぞれ1頁の印刷とする。第1列目のブランクには導入のための文章が入る。

の結果のみによってある個人にレッテルをはったり、人事管理などで悪用されないよう希望する。

本稿の作成までに、石川中、斎藤陽一、細木照政、岡本正子、酒井好道、奥井幸子、菊地誠作、鈴木誠一、伊東セツ子、西川充子、平野和子、小沢勝美、橋田学、小川博、村上正孝、酒井亮二、小木和孝、豊川裕之、山本俊一、前田和甫、小泉明、の諸先生・諸姉姉のご教示・ご援助をいただいたことを記して謝意にかえたい。

本稿は文部省科研費昭51の援助をうけた。

㊦ THI 健康調査票

この調査票は、あなたの健康のあらましを調べるためのものです。㊦抜いとして、他人には絶対知られぬようにしますから、ありのままをご記入下さい。下の太枠内のみにご記入下さい。()で囲んである項目はあなたに該当するものに○をつけて下さい。終了しましたら次のページに進んで下さい。

記入年月日	昭和 年 月 日
氏 名	
性 別	(1.男 2.女)
生年月日	(1.明治 2.大正 3.昭和) 年 月 日
年 齢	歳
住 所	〒
電 話	()
職 業	
婚 姻	(1.未婚 2.既婚 3.離婚 4.死別)

これからの質問に対し、ご自分をもっともよく当てはまる答に○をつけて下さい。はっきりしない場合にも、よく考えて、いずれかに必ず○をつけて下さい。

- | | | | |
|--------------------------------|----|---------|-----|
| 1. F° 甘いものが好きですか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 2. G° 早寝早起きのほうですか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 3. D 口の中があれることがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 4. I 頭が痛くなることがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 5. A 最近せきが出ますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 6. B 皮ふが弱いほうですか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 7. C 消化不良を起こすことがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 8. H イライラすることがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 9. J よく赤面しますか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 10. E 神経が敏感なほうですか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 11. K 近ごろ元気がないですか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 12. L° 金持ちをうらやましいと思えますか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 13. I 目まいがすることがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 14. F° 寒がりやですか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 15. G 間食をしますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 16. D 舌があれやすいですか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 17. I 頭がぼんやりすることがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 18. A くしゃみが出ることがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 19. B 目が疲れやすいですか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 20. C げっぷが出ることがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 21. H 人に待たされるとイライラしますか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 22. J 過ぎたことをよくよく考えますか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 23. E よく考えてから行動しますか..... | はい | どちらでもない | いいえ |
| 24. I 手足がだるいことがありますか..... | よく | ときどき | いいえ |
| 25. J 他人に誤解されやすい性格だと思えますか..... | はい | どちらでもない | いいえ |

26.	いつも冷静でめったにあわてませんか……………はい	どちらでもない	いいえ
27. D	歯ぐきの色が悪いですか……………かなり	少し	いいえ
28. G	人に顔色が悪いと言われますか……………よく	ときどき	いいえ
29. H	自分の気に入らないことがあるとカッとしますか……………はい	どちらでもない	いいえ
30. A	のどがつまったような感じがありますか……………よく	ときどき	いいえ
31. B	できものができやすいですか……………よく	ときどき	いいえ
32. K	人生が悲しく希望が持てないですか……………はい	どちらでもない	いいえ
33. C	みぞおちのあたり(胃)が痛むことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
34. F	自分の体重についてどう思っていますか……………ふとりすぎ	ふつう	やせすぎ
35. I	体のあちこちが痛むことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
36. L°	知っている人の中にはきれいな人もいますか……………はい	どちらでもない	いいえ
37. K	いつもおもしろくなく気がふさぎますか……………はい	どちらでもない	いいえ
38. L	大勢の前でも平気で意見の発表ができますか……………はい	どちらでもない	いいえ
39. I	頭が重いことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
40. J	人が自分をどう思っているか気になりますか……………はい	どちらでもない	いいえ
41. E	苦労性だと思えますか……………はい	どちらでもない	いいえ
42. D	口臭が強いですか……………かなり	少し	いいえ
43. G	食欲のないときがありますか……………よく	ときどき	いいえ
44. HL°	無礼な人にはぶあいそうになりますか……………はい	どちらでもない	いいえ
45. F°	立ちくらみをすることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
46. K	会合に出席してもいつも孤独を感じますか……………はい	どちらでもない	いいえ
47. L	宗教書や哲学書を読みますか……………よく	ときどき	いいえ
48. A	痰(たん)がからむことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
49. B	目が充血してまっかになることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
50. I	生つばがでることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
51. C	下痢をすることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
52. I	肩がこったり痛んだりすることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
53. J	冷汗をかくことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
54. E	衣服や手のよれが気になりますか……………はい	どちらでもない	いいえ
55. I	目がぼんやりかすむことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
56. D	歯ぐきから出血することがありますか……………よく	ときどき	いいえ
57. G°	医者から血圧のことで何か言われましたか……………高血圧	いいえ	低血圧
58. H	不平不満が多いほうだと思えますか……………はい	どちらでもない	いいえ
59.	毎日20本以上のタバコを吸いますか……………はい	20本以下	全くすわない
60. K	ひとりぼっちだと感じることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
61. L°	人のうわさ話をすることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
62. A	鼻水が出ることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
63. B	じんましんが出ることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
64. C	歯をみがくときなどにはきけのすることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
65. I	腰の痛むことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
66. J	気疲れするほうですか……………はい	どちらでもない	いいえ
67. I	体が熱っばかったり微熱があつたりしますか……………よく	ときどき	いいえ
68. L	その日のうちにすべき事は必ずその日のうちにしますか……………はい	どちらでもない	いいえ
69. I	背中や背骨が痛むことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
70. D	便秘しやすいですか……………よく	ときどき	いいえ

71. G	仕事がついと感じることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
72. H	深く考えずに行動することがありますか……………よく	ときどき	いいえ
73. F	酒をたくさん飲みますか……………はい	少し	全く飲まない
74. K	人に会いたくないときがありますか……………よく	ときどき	いいえ
75. E	物事に敏感なほうですか……………はい	どちらでもない	いいえ
76. I	急いで歩くと動悸が激しくなりますか……………よく	ときどき	いいえ
77. J	試験の時や目上の人の質問に答える時汗をかきますか……………はい	ときどき	いいえ
78. F°	体が弱いほうですか……………はい	少し	いいえ
79. J	見知らぬ場所では落着きませんか……………はい	どちらでもない	いいえ
80. D	排便のとき肛門(こうもん)が痛みますか……………よく	ときどき	いいえ
81. J	気分が波がありすぎると思えますか……………はい	どちらでもない	いいえ
82. G I	近ごろ体がだるいですか……………いつも	ときどき	いいえ
83. J	ちょっとしたことが気になりますか……………はい	どちらでもない	いいえ
84. A	かぜをひきやすいですか……………はい	どちらでもない	いいえ
85. B I	目が痛かったり熱く感じたりすることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
86. C	胃腸の具合が悪いことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
87. J	目上の人が近づくとふるえそうになりますか……………はい	どちらでもない	いいえ
88. B	まぶたが重いと感じる場合がありますか……………よく	ときどき	いいえ
89. A I	鼻がつまる場合がありますか……………よく	ときどき	いいえ
90. K	ひげ目を感じる場合がありますか……………よく	ときどき	いいえ
91. G	近ごろ朝起きるのがつらいですか……………いつも	ときどき	いいえ
92. J	どなりつけられると体がすくみますか……………はい	どちらでもない	いいえ
93. I	胸やけすることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
94. D	痔(じ)の出血がありますか……………よく	ときどき	いいえ
95. G	朝食を食べないことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
96. H	ちょっとしたことですぐカッとしますか……………はい	どちらでもない	いいえ
97. A	息をするとゼイゼイと音がしますか……………よく	ときどき	いいえ
98.	非常に怒ることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
99. B	発疹(赤いぶつぶつ)が出る場合がありますか……………よく	ときどき	いいえ
100. K	ゆううつなときがありますか……………よく	ときどき	いいえ
101. C	胃が重かったりもたれたりすることがありますか……………よく	ときどき	いいえ
102. L	新聞の社説は毎日読みますか……………はい	どちらでもない	いいえ
103. I	横になって休みたいことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
104. D	口がはれぼったかったり熱っぽいことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
105. J	夜中の突然の音などでおびえることがありますか……………はい	どちらでもない	いいえ
106. A I	のどが痛かったりいがらっぽかったりしますか……………よく	ときどき	いいえ
107. E	神経質だと思いますか……………はい	どちらでもない	いいえ
108. B	目やにが多いですか……………多い	ふつう	いいえ
109. K	自分の生き方はまちがっていたと思いますか……………よく	ときどき	いいえ
110. L°	他人に自分をよく見せたいですか……………はい	どちらでもない	いいえ
111. C	食後に胃が痛むことがありますか……………よく	ときどき	いいえ
112. E	心配性だと思いますか……………はい	どちらでもない	いいえ
113. G°	近ごろ寝不足ですか……………はい	どちらでもない	いいえ
114. D	歯ぐきがはれる場合がありますか……………よく	ときどき	いいえ
115. H	人に命令されるのはきらいですか……………はい	どちらでもない	いいえ

116. F°	気が小さいと思いますか……………	はい	どちらでもない	いいえ
117. A	痰(たん)がでることがありますか……………	よく	ときどき	いいえ
118. B	皮ふがかゆくなることがありますか……………	よく	ときどき	いいえ
119. K	近ごろ何かにつけて自信がなくなってきましたか……………	はい	どちらでもない	いいえ
120. I	顔がほてったり頭がのぼせたりしますか……………	よく	ときどき	いいえ
121. J	人に見られていると仕事が手につきませんか……………	はい	どちらでもない	いいえ
122. G	食事の不規則なことがありますか……………	よく	ときどき	いいえ
123.	世間をアッと言わせるようなことをしてみたいですか……………	はい	どちらでもない	いいえ
124. E	気むずかしいほうですか……………	はい	どちらでもない	いいえ
125. H	人にせかされるとしゃくにさわれますか……………	はい	どちらでもない	いいえ
126. L	短時間に沢山の仕事をする自信がありますか……………	はい	どちらでもない	いいえ
127. C	空腹時に胃の痛むことがありますか……………	よく	ときどき	いいえ
128.	下腹が痛むことがありますか……………	よく	ときどき	いいえ
129.	階段ののぼりおりがづらいことがありますか……………	よく	ときどき	いいえ
130.	急いで歩いたときなど息切れしますか……………	よく	ときどき	いいえ

これで質問は終了ですが、これらの質問のうち、あるいはそれ以外で特に気になることがあれば下に書いて下さい。なければ、もう一度最初から、記入もれがないか確かめて下さい。

文献

- 1) 青木繁伸, 鈴木庄亮, 柳井晴夫: 新しい質問紙健康調査票作成のこころみ. 行動計量学. 2: 41-53, 1974.
- 2) 鈴木庄亮: ある質問紙健康調査票作成の試み. 健康管理. 252: 25-31, 1975.
- 3) Brodman, K., Erdman, A. J., Lorge, I. & Wolff, H. G.: The Cornell Medical Index, An adjunct to medical interview. *JAMA*. 140: 530-534, 1949.
- 4) 田多井吉之助: コーネル医学指数 (Cornell Medical Index). 医学のあゆみ. 16: 98-105, 1953.
- 5) 千葉裕典: コーネル医学指数, 勝沼晴雄編: 公衆衛生集団検診法. 医歯薬出版, 東京, 1960, p.23.
- 6) 金久卓也, 深町 健: コーネル・メディカル・インデックス. 三京房, 京都, 1972.
- 7) 菊地誠作: CMIに関する文献の展望. 健康管理. 207: 14-26, 1971.
- 8) Brodman, K. & Woerkom, A. J.: Computer-aided diagnostic screening for 100 common diseases. *JAMA*. 197: 179-183, 1966.
- 9) 鈴木庄亮, 北村明美: Medical Data Index(MDI)-Brodman による新しい質問紙健康調査票. 医学のあゆみ. 67: 647-651, 1968.
- 10) Grossman, J. H., Barnett, G. O., McMuire, M. T. & Swedlow, D. B.: Evaluation of computer-acquired patient histories. *JAMA*. 215: 1286-1291, 1971.
- 11) 古川俊之: Automated Medical History. 総合臨床. 22: 1243-1250, 1973.
- 12) Bennet, A. E. & Ritche, K.: Questionnaire in medicine. Oxford Univ. Press, 1975, p. 25.
- 13) 青山英康: 集団検診の活動評価. 日公衛誌. 10: 1-9, 1963.
- 14) 田中恒男, 江口篤寿編著: 健康調査法. 医歯薬出版, 東京, 1976.
- 15) 鈴木庄亮, 青木繁伸, 柳井晴夫: 一質問紙健康調査票 THPI の検討——現場の応用例から. 第49回日本産衛学会講演集. 1976, pp. 452-453.
- 16) 鈴木庄亮, 柳井晴夫: CMI と MDI の因子分析結果について. 産業医学. 18(5): 1976(印刷中).
- 17) 青木繁伸, 鈴木庄亮, 柳井晴夫: 自由記入による心身の訴えの量と質. 産業医学. 17: 30-31, 1975.
- 18) 青木繁伸, 鈴木庄亮, 柳井晴夫, 齊藤陽一, 細木照政: THPI の妥当性の検討. 第3回日本行動計量学会. 1975, pp. 74-75.
- 19) 竹内 啓・柳井晴夫: 多変量解析の基礎. 東洋経済新報, 東京, 1947.
- 20) 辻岡美延, 藤村和久: 社会的望ましき因子の混入しない質問紙法性格検査の構成. 教育心理学研究. 23: 206-212, 1975.